

柏崎市第六次総合計画基本構想・前期基本計画(案) パブリック・コメント一覧

No.	受付日	関連項目	意見の概要	回答所管部局	意見に対する回答	計画への反映
1	R7.10.14	基本計画分野1	<p>【生活・安全・環境】「1-4 地域防災力・消防力の充実」の目標指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標指標「防災士養成講座による資格取得者数」において、単純に資格取得者数を増やすのでは、防災士が各地域に均一に取得されないのではないか。 ・例えば、「市内各地域の防災士取得率を10%以上にする」などの目標にすることで各地域の防災力がバランスよく向上され「地域防災力の充実」というめざす姿に適合した効果的な目標になるのではないか。 	市民生活部	<p>御意見のとおり、防災士資格取得者の割合が市内各地域で均一になり、バランスよく向上していくことは、「地域防災力の充実」において理想的な姿であると考えます。</p> <p>しかしながら、地域によって人数、世帯数、年齢構成などにバラつきがあることから、全市域において均一の割合を目標指標とすることが、かえって地域の負担になることも考えられます。</p> <p>市としては、防災全般の基礎的な知識を習得した方が地域に1人でも多く増えるよう、防災士の養成を進めるとともに、防災士がいない地域に対し、防災出前講座などを活用して資格取得を働きかけてまいります。</p>	無
2	R7.10.14	基本計画分野1	<p>【生活・安全・環境】「1-4 地域防災力・消防力の充実」の目標指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標指標「人口千人当たりの消防団員数」における令和11年度の目標値17.5人の根拠は何か。 【参考】5年後の柏崎市の人口が68,000人とする… $68,000 \div 1,000 \times 17.5 = 1,190$人 現消防団員数が1,256人で、5年の間に年間8人ずつ減少すると仮定すると、 $1,256 - (8 \times 5) = 1,216$人 ← 1,190人を上回っている。 ・女性や学生を含めた消防団員の加入促進の広報活動を進めていくことで、持続可能な消防団運営につながり、地域防災意識の高まりによる入団者増加など様々な目標が立てられるのではないか。目標指標を変更してはどうか。 	消防本部	<p>目標指標17.5人は、第六次総合計画の将来推計人口との比較を踏まえ、人口の推移と消防団員数の変化を分析したうえで算出したものです。</p> <p>本市では、令和4(2022)年からの過去4年間の減少状況を踏まえ年間10人程度減少すると予測しており、今後も同様の傾向が続くものと見込まれます。</p> <p>よって、目標指標の変更は行わず、女性や学生を含めた幅広い層への加入促進や広報活動を強化し、消防団員の確保と持続的な団運営の実現に努めてまいります。</p>	無
3	R7.10.14	基本計画分野1	<p>【生活・安全・環境】「1-5 災害に強いまちづくりの推進」の目標指標数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めざす姿を「自然災害に備えた対策を進め、災害に強いまちを形成しています。」とし、自然災害について様々な主要施策の方向性を挙げているが、「主な事務事業」や「関連する個別計画」の数を考えると、目標指標が「森林経営管理事業の整備率」と「民間住宅の耐震化率」の2つでは少ないのではないか。 	都市整備部 上下水道局	<p>治水ダムや砂防施設の整備と地すべり防止対策については、県の所管事業であるため、目標指標の設定が難しくなっております。御意見を踏まえ、新たに市所管の準用河川の整備について目標指標を追加して着実な改修を実施し、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>なお、雨水対策等についても継続して対応を進めてまいります。</p>	有